



J-AIR、「健康経営優良法人(ホワイト500)」(3度目)に認定

～社員の健康支援で、お客さまへの「最高のサービスの提供」につなげます～

2021年3月17日

このたび J-AIR は、3月4日に日本健康会議より「健康経営優良法人 2021(大規模法人部門)」に認定され、さらに健康経営優良法人上位500社「ホワイト500」にも認定されました。(※1)

「ホワイト500」とは、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに経済産業省が認定した特に優良な健康経営を実践している法人であり、健康経営優良法人(大規模法人部門)認定法人の中で、健康経営度調査結果の上位500法人が認定されます。

J-AIR は今後も健康宣言に基づく取り組みを確実に実行し、健康経営を推進することで「地域に密着し、お客さまの心に寄り添う」サービスを提供してまいります。

(※1) JALグループ11社が健康経営優良法人2021に認定されました。詳細については下記をご参照ください。

URL: <https://press.jal.co.jp/ja/release/202103/005977.html>

<J-AIR 健康宣言(トップメッセージ)>

私たち J-AIR は「地域と地域を結ぶことでお客さまに喜んでいただける航空ネットワークをご提供する」という事業目的を達成するために、JALグループ企業理念にある「全社員の物心両面の幸福」を追求し、社員が長く安心して働ける会社の基盤である「心身の健康」を実現します。

健康増進に経営課題として取り組み、すべての社員が元気にいきいきと働くことで地域・社会の活力に貢献するのは、J-AIR の重要な責務です。

私は先頭に立ち、自ら健康増進につながる行動を起こすとともに、J-AIR に集う社員一人ひとりが行動を起こすことができるよう、ともに取り組むことを宣言します。

<取り組み>

1. 定期健康診断の受診促進と社員の健康管理・指導を進めます。
2. ワークスタイル変革と、健康的な職場環境を実現します。
3. 健康課題を解決するため、社員参加型の活動を実施します。



(乗務前にストレッチをする客室乗務員)



(JALグループのスポーツイベントに参加する社員)